ものがたりシート

自分のものがたりをさいしょからさいごまで書きましょう。

タイトル　にじへいこう

作さ　井田るか

むかしむかし
森の中にすんでいるアリスという女の子がいました。
アリスは、大きくてきれいなにじが大すきです。にじが出るといつも空をながめていました。
「今日にじがきれいだわ。あーあ、にじの上を歩いてみたいな。」と思いました。
でも、どうしたらにじの上にいけるのかわからなくてこまっています。
「そうだ！キッコロにのぼってみよう。」
アリスは森でいちばん高い木のキッコロにのぼりました。
「よいしょ。よいしょ。てっぺんまではずいぶん遠いな。」
アリスはやっとキッコロのてっぺんにつきました。でも、にじはもっともっと高いところにあってすったくとどきません。
キッコロより高いところはどこかしら？」
アリスはかんがえました。
「そうだ。つぎはソラミネにのぼろう。」
ソラミネは雲をつきぬく高い山です。そしてゴロゴロした石がたくさんあってなかなか前にすすみません。でも、あきらめずにのぼりました。
少しだけにじの近くにいけたけど、まだまだとどきません。
「もっとにじの近くに行くにはどうすればいいかしら。
あっ。もしかしたら…」
アリスはとんでいるカゼハネをおいかけ、がけをよじのぼりました。カゼハネのすは空高くつづいているがけの上にあります。

がけはでこぼこした岩がとびだしていて、のぼるのにたいへんです。

アリスはなんども手と足がぐらりとしておちそうになったけど一生けんめいよじのぼりました。

アリスはやっとカゼハネのすにつきました。

「カゼハネおねがいがあるの！わたしをにじの上までつれていってくれないかしら。」

カゼハネはえがおでうなずきせなかにのせてくれました。

「なんて高いのかしら。それににじがどんどん近くなってきたわ。」

あっというまににじの上につきました。

にじの上は、七色の光りでてらされていて、とてもまぶしいです。そしてアリスが歩くとキラキラ光ります。

「わぁー。なんてきれいなのかしら。にじの上を歩けるなんてゆめみたいだわ。」

アリスはにじの上を歩けてとてもよろこんでいました。

めでたしめでたし。